

ストップ・ザ・地球温暖化！ ～家庭でできる節電生活～

東日本大震災以降、電力需給の心配から全国的に節電が呼びかけられています。北海道では暖房器具を多く使用する冬期間が最も電力需要の大きい季節です。

何気ない生活の中には、きっと小さな“ムダ”が潜んでいるのではないのでしょうか。私たち一人ひとりの節電の取り組みが、ひいては地球温暖化防止、地球環境の保全に大きな力になります。

今回は、家庭でできる節電のポイントをご紹介します。

①こまめにスイッチオフ！～スイッチオフで電気使用は必要最小限に！～

照明も電化製品も本当に必要な時だけ使い、使わない場合は、こまめにスイッチを切りましょう。また長時間使用しない場合は、プラグを抜いておきましょう。

・必要のない灯りは、こまめに消す

人のいない部屋や廊下はこまめに消灯しましょう。また、照明の間引きや照度の調整を行って、必要最小限の灯かりを心がけましょう。リモコンがある場合、手元で照明器具のON/OFF、明るさの調光が行えます。また、設定した調光状態でON、OFFが可能で、省エネにもなります。

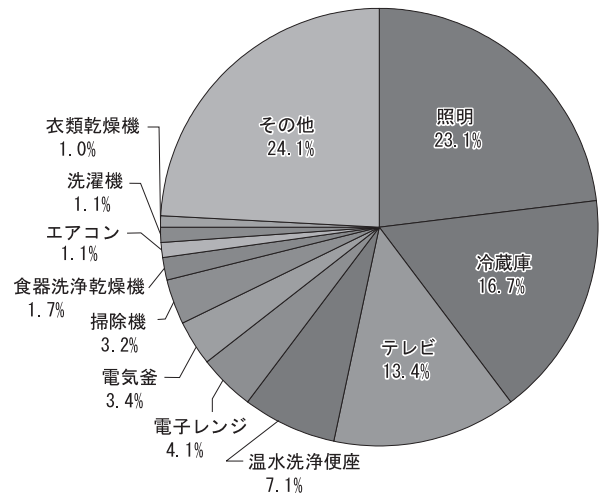
・見ないテレビはこまめに消す

テレビを見ていないときはこまめに消しましょう。リモコン待ち状態でもエネルギーを消費しているので、消す時は主電源から。旅行など、長期不在の時はプラグを抜くようにしましょう。

・パソコンを使わないときは電源OFF & 電源オプションを見直す

パソコンを使わないときは、必ず電源をオフにしましょう。また、長時間使わない時にはコンセントからプラグを抜けば待機電力も減らすことができ、より節電です。

出典：資源エネルギー庁「平成16年度電力需給の概要」



図：北海道の家電別の消費電力

②待機電力を削減！ ～使用していない場合にも電力が消費される待機電力を削減！～

電化製品の節電を考える時、使用していない場合にも電力が消費されてしまう「待機時の消費電力」。それを、いかにして減らしていくのかも重要な節電対策です。

年間を通じて家庭で消費される電力量のうち、待機時消費電力は全体の約6%を占めます。なんとこれは、テレビの消費電力量とほぼ同じ割合にあたります。

待機時消費電力を減らすための便利な機能や機器もあります。プラグを抜くことで設定に影響が出てしまうビデオデッキなどでは、「表示OFF機能」などを上手に使うことで消費電力を減らしましょう。

出典：省エネルギーセンター「平成20年度待機時消費電力調査報告書」

町民一人ひとりの節電の努力が、温室効果ガス削減を通して地球温暖化防止につながります。
みんなで協力しあい、環境にやさしいまちづくりを目指しましょう。

参考 環境省特設サイト「チャレンジ25キャンペーン」：<http://www.challenge25.go.jp/>

■お問い合わせ：役場住民課環境衛生係 (TEL32-2422) まで